



No. 272
 郵便番号 937
 発行 富山県 魚津市役所
 編集発行人 高瀬善一郎
 毎月1回1日発行
 印刷 魚津印刷KK

人口のうごき

	男	女	計
出生	36	24	60人
死亡	17	13	30人
婚姻			49組

市民の健康を守る保健事業

最近、人間の寿命はたいへんのびてきており、これは医学の進歩と保健衛生行政の改善などがあげられます。市でも市民のみなさんの健康保持増進をはかり、明るい社会生活が

できるようなつとめております。つきに、この市の保健事業はどのようなものがあるかみてみましょう。なお、この事業の推進には医師会、保健所などの協力をいただいております。

母子の保健指導

まず乳幼児の保健指導は、正しい保育知識の普及と検診により、病気を予防し、健康なお子さんを育てるために実施しております。ことしも次のような検診が予定されています。

- ▼乳児検診Ⅱ 生後三・六・八・十二か月児対象、毎週金曜、保健所
- ▼股関節脱臼検査Ⅱ 一歳未満児対象、第二金曜、保健所
- ▼離乳食講習Ⅱ 第四金曜、保健所
- ▼幼児検診Ⅱ 一歳児は7月、二歳児は11月、四歳児は2月、五歳児は3月、各校下ごとに実施。

つきに一般成人者に対しては、家族計画についての考えや普及を目的とする婚前学級(青年学級を利用) 明るい家庭づくりの基礎を築くための新婚指導(毎週水曜日、市役所)がひらかれます。

また、妊婦の保健指導としては、妊婦検診(第三金曜、保健所) 母親学級(第一金曜、保健所) があり、中年婦人層には、健康の保持・増進と成人病予防に重点をおいた衛生教育を婦人学級にとり入れて保健指導にあたります。

成人病

最近の死亡する人の死因は、脳卒中でなくなる人が第一位となっています。

昔は、脳卒中で倒れる人は年寄りであると思われていたが、近ごろでは、四五十代の人々が相当見受けられます。この年代の人が倒れることは、一家の幸

予防注射

伝染病予防と免疫を獲得するため、校下ごとに予防注射を実施しますが、ことしの計画はつぎのようになっています。なお注射日の案内は市広報でお知らせすることになっております。

(予防注射、該当者、は実施月の順。)

- ▶ジフテリア、百日せき、破傷風混合ワクチン=43年中の出生者と昨年初回免疫完了者(4~5月)
- ▶ツベルクリン反応、BCG接種=6歳未満児(4~6月)
- ▶小児まひ生ワクチン服用=43年7月~44年6月までの出生児(5月と10月)
- ▶日本脳炎=生後6か月以上の人(6~7月)
- ▶種とう=43年7月~44年6月までの出生者、就学児、小学6年生(9月)
- ▶ジフテリア=就学児と小学6年生(11月)
- ▶インフルエンザ=生後6か月以上の人(11~12月)



住民検診で早期発見

最近、結核による死亡は少なくなっているようです。しかし、結核はやはり人から人に伝染し、いったん感染し発病した場合、相当な治療が必要になります。したがって結核予防法という法律には、誰でも必ず一年に一回の検診を受けることが義務づけられています。

このため市では、ことし7月10月にかけて、レントゲン車により、各校下をまわり住民検診を実施することにしてあります。

毎年住民検診には、一万三千人ほどの人が検査を受けられますが、42年は十五人、43年は十一人の患者が発見されており、病気の早期発見に役立ててください。

(写真は糸田地区で実施した総合検診)

不幸を左右する問題です。市では、住民検診の際に三十五歳以上の人に血圧測定を行ないその指導にあたります。

昨年、市内ではじめての試みとして、糸田地区において血液循環系の検査を実施しました。八百四十五名の検診者のうち、治療しなければならぬ人六十四名、精密検査を要する人三十名、保健指導者四十二名もありました。

結核

最近、結核による死亡は少なくなっているようです。しかし、結核はやはり人から人に伝染し、いったん感染し発病した場合、相当な治療が必要になります。したがって結核予防法という法律には、誰でも必ず一年に一回の検診を受けることが義務づけられています。

このため市では、ことし7月10月にかけて、レントゲン車により、各校下をまわり住民検診を実施することにしてあります。

市民スキー大会

市では、第九回市民スキー大会を2月9日(日)午前9時45分から大谷スキー場で行ないます。

この大会の参加資格は市内に在住する人、または勤務する人で、競技種目と種別は、

- 個人 小学II滑降競技 中学II滑降回転競技 高校、一般、壮年、会員II大回転競技
- 団体 滑降回転、リレー、距離競走を小中高生、一般、壮年の五部に分かれて競う。

参加希望者は、9日午前9時30分まで会場にお集まりください。

魚津市史上 増刷

魚津市史上巻は昨年4月に発刊されたが、その後購入を希望される人がたくさんありますので、市ではこのたび増刷することにしました。

購入を希望される人は、2月10日(月)まで市役所総務課市史編纂事務局へ「申込書」を提出してください。

一冊の価格は二千円で、3月上旬に配布できることになっております。



校下の代表と はたちのつどい

市教委では、1月15日市民会館で座談会「はたちのつどい」をひらきました。このつどいには各公民館より推薦された二十四名の成人者と市長、議長、教育委員などが出席し、西部中浦田先生の司会ですすめられました。

成人式を迎えての心がまえと抱負、結婚問題、市政に対する意見などについて一時間におわたって話し合われました。出席者からは、「これからは責任をもつてやりたい」という自覚めいたものを感した。「私の仕事の資格をとるためにしっかり勉強したい」「自分の仕事は人に負けないようがんばりたい」「公共駐車場や老人ホームをつくらせてほしい」のほかに活発な意見が交換されました。(写真は座談会「はたちのつどい」)

交通傷害保険に加入を

44年度分は3月1日から受け付け

昨年4月から実施しました市民交通傷害保険制度には、1月25日現在で五千七百六十八人が加入されており、加入率は一三・三割。この保険に加入されている人で交通事故にあわれた

人は、死者四人、傷者十六人あわせて二十一人にのぼっています。そして、この人たちに支払われた保険金は二百三十一万円になっております。

本市の交通傷害保険は4月から3月までの期間になっているので、加入されている人は3月31日までに加入することになります。4月から加入される場合は、改めて加入申し込みすることになっており、近く申込書を各ご家庭へ配布する予定です。

加入申し込みは3月1日から市役所市民課、連絡所まで受け付けることになっております。なお2月か加入される人は4月からの分とあわせて申し込みして

保母の採用試験

市では保母の採用試験を次のように行ないます。受験希望者は2月10日(月)まで市役所秘書人事課へ申込書を提出してください。

- ▽受験資格 児童福祉法施行令第十三条第一項第二号による保母資格を有するもの、または昭和44年3月末までに保母資格取得見込みの者
- 昭和18年4月2日から昭和25年4月1日まで生まれの人
- 勤務の都合上、魚津市内に在住している人

▽試験期日と場所 2月16日(日) 午前9時から市役所で行ないます。くわしいことは、秘書人事課へお問い合わせください。



8百25人 生まれる

43年中の人口動態

12月末における人口は四万七千二百七十七人(男二万二千六百二十七人、女二万四千五百八十八人)、世帯数は一万二千二百五十六世帯でした。

この一年間に届け出られた婚姻は四百三十三件、離婚は三十五件、出生は八百二十五人(男四百四十八人、女三百七十七人)で、42年より九十六人ふえています。また、これは一日に二三人生まれます。

今月の市税

固定資産税 四期分
 国民健康保険税 四期分
 納期限は 2月28日です



婦人学級 教習所

市教委では、婦人の教養を高める目的で、昨年4月から各地区婦人会の協力をえて、婦人学級をひらいてきました。3月で終わりますが、これからの日程は次のようになっています。公民館や小学校で、おもに午後からひらかれていきますから、どなたもお気軽に参加してください。

- △中下島 2月5日 教養講座
- △松倉 2月5日 開講式 10日 家庭生活 18日 これから農業 25日 団体の意義 3月4日 家庭生活
- △上野方 2月6日 市政について 10日 菜園の年間計画 13日 婦人と健康 3月3日 反省会
- △下野方 2月5日 保健衛生 19日 政治講座 3月25日 宗

婦人学級研究大会

10日市民会館で

婦人学級運営上の問題点などについて研究討議と成果の発表をする魚津市婦人学級研究大会は、2月10日(月)午前10時から市民会館でひらかれます。

当日は午前中に「婦人の意見発表大会魚津市大会」も開催され、「現代に思う」と題して、地区婦人会代表の意見発表があります。また、午後からは映画と講演があります。



市役所市民課、連絡所まで受け付けることになっております。なお2月か加入される人は4月からの分とあわせて申し込みして

市役所市民課、連絡所まで受け付けることになっております。なお2月か加入される人は4月からの分とあわせて申し込みして

